

# あどぼけいと

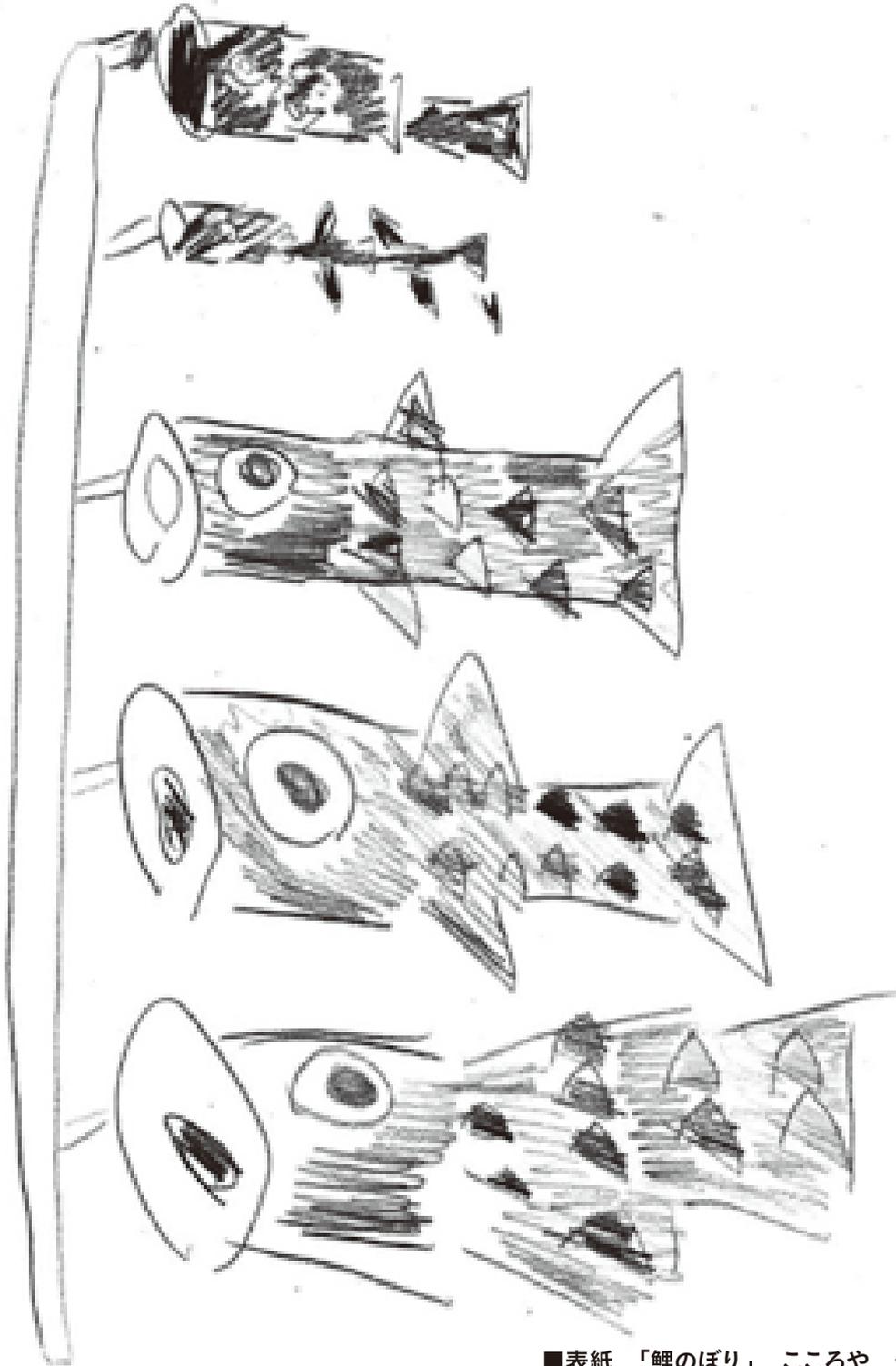
HSK

2019年5月号

No.218 [May] 定価 100円

1973年1月13日第三種郵便物承認 HSK通巻番号566号  
発行人=北海道障害者団体定期刊行物協会  
発行日=2019年5月10日(毎月10日発行)  
編集者=我妻 武  
◇特定非営利活動法人 札幌障害者活動支援センターライフ  
〒063-0812  
札幌市西区琴似2条5丁目3-5 マンションMOMO1F  
TEL 011-633-6666 FAX 011-613-9323  
ホームページ <http://npolife.net/>

あどぼけいと [advocate] = すべての人のもつ権利を、障害などさまざまな理由で行使できない状況にある人に代わり、権利擁護のための活動を行っている人々の事。



■表紙 「鯉のぼり」 ころや 佐藤 賢治

去る3月29日、エコフィスジャパン株式会社(札幌)の中村佳史営業部長がライフ本部にお越しくださり、引き続きライフの皆さんのためにお使いくださいと50万円のご寄付をいただきました。

当日は法人では、石澤専務理事、児島理事、佐々木理事らも同席しましたが、代表して我妻が拝受いたしました。ライフからはお礼を込めて感謝状をお贈りさせていただきました。

こちらからは一緒にお仕事をさせていただいていることが働いている人たちの大きな自信と誇りになっていることをお伝えしました。エコフィスでは新しい工場で障害者雇用も考えているとのこと。中村部長からは、これもライフとのお付き合いがあったからこそと嬉しいお言葉をいただきました。

いただいたご寄付についてはライフの活動の中で大切にに使わせていただきたいと思います。本当にありがとうございました。



## イオンのゴミ分別作業

たねや 高井 明德

イオンでの業務は、スーパー、飲食店、各テナントなどから出されるゴミ(廃棄物、ビン・カンペット・生ゴミなど)を、毎日来る回収業者が回収しやすいように片付けたり、燃えるゴミや紙ゴミ、ガラス、プラスチックに分別したりする作業をします。分別するものは、ダンボール、雑紙、ビニール、燃えるゴミ、生ゴミ、廃棄プラスチック、割れ物、発泡スチロール、ビンカンペット、電池、電球、蛍光灯など多岐に渡ります。我々が勤務するイオンは年中無休で、朝7時から夕方17時までの勤務時間の中で、9名のシフトで交代しながら作業します。

季節の変わり目などは作業が増え忙しくなります。今時期だと新入学や新生活シーズンで、家電や生活用品が動き、それに伴う入荷の際のダンボールやゴミが増えます。夏や冬は夏物冬物などの新商品が多く入荷しますし、秋口は果物などの食品が多く動き大量のゴミが出ます。クリスマスシーズンになるとおもちゃのダンボールがひっきりなしに捨てられます。ゴミの量は年末年始が最も多く、それに加え回収業者の休みが重なるので、イオンのゴミ庫はゴミで溢れかえります。

2018年9月6日に発生した北海道胆振東部地震で、我々が勤務するイオンは48時間ほど停電したと思います。

その影響で店内の飲食店、スーパーの冷蔵庫や冷凍庫がストップしてしまい、大量の食品が廃棄されました。イオンのゴミ庫はコンビニくらいの広さがある大きな部屋なのですが、そこが冷凍食品や乳製品、アイスなどで天井までいっぱいになりました。大量に廃棄された食品は我々と回収業者合わせて10数名で丸2日かけて片付けました。

地震で停電している間、表では食料を求めて長蛇の列ができていて、商品も枯渇していましたが、裏では廃棄するのに何日もかかるほど大量の食品を捨てなければならない。冷蔵商品なので仕方がないのかもしれませんが、これが全道のすべてのスーパーで行われていたのかと思うと怖くなりました。

毎日賞味期限や食品表示から外れているということで大量の食品がすてられています。リサイクルの名の下でゴミの分別作業をしていますがはたして本当にリサイクルされているのか、リサイクルは有効なのかは甚だ疑問ですが、慣ればそれほど大変な業務ではないのでイオンで働くスタッフは随時募集中です!

「ころや」から「たねや」に異動して1年が経ち、ようやく作業や日々の業務にも慣れてきました。私が普段担当しているのは、大型ショッピングモールのごみ分別作業です。今回はこちらの仕事について写真付きで紹介をしたいと思います。朝早くから作業は始まります。大体8~9時の間にダンボール、燃えるゴミ、ビニールの回収業者が来るので、それまでに各ゴミを分別してまとめておきます。中には外に出しておく場合もある。作業は、店舗のモール側、直営側のゴミ倉庫に二人ずつ分かれて行ないます。誰かが休んだ時は他のメンバーで補い合います。最初は前の日のダンボールが散乱しているので、それをダンボール箱に詰めたり、台車に積んでゆく作業をしてまとめます。



朝はだいたいいつもこんな感じです。

大量の小さいダンボール箱は圧縮機で潰します。その間にもどンドン、お店の人が持ってくる台車で部屋が埋まっていくので、スペースを作りながら作業をします。



ダンボールを圧縮機で潰す作業をしているところです。

回収業者が来たら一緒に作業します。この場合の作業というのは、業者がゴミを回収した後の空っぽになった台車や箱などを片付けること言います。一通りの作業が終われば朝の休憩にはいります。休憩明けは、昼まで作業をします。主に、従業員の人々が持ってくるダンボールを綺麗に積んでゆく作業があり、もう一人は廃棄プラスチックや雑紙、燃えるゴミの分別を行います。ダンボールと燃えるゴミは午後にもう一回、



こちらは、ダンボール回収の様子です。

回収があるのでそれに向けてまとめていきます。以前は圧縮機でビニールを潰す作業をしていましたが、回収業者が変わってからは圧縮しなくてよくなりました。昼は大体、11時か11時半から休憩になります。同時に二人入るか、状況によっては一人ずつ時間をずらしてはいます。お昼休憩が終わったら、生ゴミや燃えるゴミの回収があります。



こちらは燃えるゴミを圧縮しているところです。

生ゴミの回収が終わったら生ゴミの入っていたケースを洗います。もう一人が、発泡スチロールをまとめる作業をします。14時~15時くらいに発泡と雑紙の業者、ダンボールの業者が回収に来るので、手伝ったり片付けたりします。それらが終わって、午後の休憩です。後は17時まで、ゴミを分別してゴミ倉庫を綺麗に保ちます。これからもメンバースタッフ一同でゴミ分別作業を頑張っていきます。



回収が終わるとこんなに綺麗になります。

■同級生が突然消えた?!

1968年、ボクの中学校時代の体験である。3年のクラス替えでボクはAさんと同じクラスになり席も隣であった。Aさんは今でいう知的障害のある人だった。7月のある日、担任の教員が「休みが終わったらAさんは〇〇学級(特殊学級)に移ります」と語った。その学級は体育館の奥にあった。ボクらは何とも言えぬ雰囲気沈黙して聞くだけだった。

部活で一緒だったF君は「不良」と呼ばれていた。F君の家は貧困だった。行き場のない怒りを突然「暴力」という形でしか表現できない奴だった。普段はムードメーカーでいい奴なのだが、ある日突然僕を名指して殴ってきた。殴られた痛みより何か言い知れぬ淋しさを覚えた。その数週間後、彼は強盗の罪で補導された。盗んだのは「野球ボール1個」だったという。

友人のT君は夏休みが終わっても学校に来なかった。担任に聞くと「転校した」との返事。仲良しだった彼がなぜ突然転校したのか。ボクはT君の家を訪ねた。T君は家について「朝鮮学校に転校したんだ」と言いながら、ボクにお店のコーラをくれた。彼の家は焼肉屋だった。「そうか」といって一緒にコーラを飲んだのが最後になった。カミングアウトしてくれたのだが、その後ボクはT君と疎遠になった。

つくり話のようですが、これは50年前にボクが実際に体験した事です。

15の春を迎える多感なボクにとってこの3人の友が目の前から消えた事実は大きなショックでした。子どもなりに社会の理不尽や不条理を感じるようになります。ボクの社会運動や障害者運動にかかわる大きな契機でもあります。高度経済成長と言われた時代ですが、貧富の差が徐々に広がる、まだ貧しい時代でした。

50年経って日本はどう変わったのでしょうか?

障害者は社会に混ざっているのでしょうか。

差別は減っているのでしょうか?

貧困層が拡大し社会からの排除が進んでいるのは事実です。

ネット右翼やヘイトスピーチでは口汚い在日朝鮮人・韓国人への差別発言や嫌がらせが続いています。

でもこの国の人々は、この社会に「不満」がないのか「無気力」「無関心」なのか、今の社会状況を認めているよう

に思えます。否、諦めているのかもしれませんが。

差別は悪い、貧困は良くない、ヘイトも嫌だし戦争も嫌と誰もが言います。でも、自分の周りに影響しなければ、「まずは良し」となっていないでしょうか。

■だから「ファイト!」

中島みゆきの「ファイト!」という歌詞にこんなのがあります。

♪あたし中卒やからね 仕事をもらわれへんのやと書いた  
女の子の手紙の文字は とがりながらふるえている  
ガキのくせにと頬を打たれ 少年たちの眼が年をとる  
悔しさを握りしめすぎたこぶしの中 爪が突き刺さる♪  
♪私、本当は目撃したんです  
昨日電車の駅、  
階段でころがり落ちた子供とつきとばした女のうす笑い  
私、驚いてしまって助けもせず叫びもしなかった  
ただ恐くて逃げました  
私の敵は 私です♪

この「ファイト!」は、誰かにむかって「がんばれ」と応援しているのではなく、傍観者である自分に「お前も闘えよ」と鼓舞している歌だと言われています。

ボクらも、今の政治や社会福祉制度等に慣らされてはだめです。諦めるのではなく、現状に流されるのではなく、理不尽なこと、不条理なことに「ファイト!」と言って闘う魂はしっかり堅持していきましょう。

♪あたし男だったらよかったわ

力づくで男の思うままにならずにすんだかもしれないだけ  
あたし男に生まれればよかったわ

♪ああ小魚たちきらきらと 海の中の国境を越えてゆく  
諦めという名の鎖を 身をよじってほどいてゆく

♪ファイト!闘う君の唄を 闘わない奴らが笑うだろう

ファイト!冷たい水の中を ふるえながらのぼってゆけ〜

前日までの陽気な暖かさが嘘のような肌寒さの中「わたしたちの働き方改革を考える」と題して共同連のマラソントークがここ札幌かでの2.7で開催された。

北海道内外からたくさんの参加者が集まりとても有意義な議論の場となった。共同連北海道ブロック代表石澤の開会挨拶で始まり共同連代表堀さんのお話から。



雇う雇われるでは完結しない共同連の提唱する共働をお話いただいた。社会的事業所の対等平等の理念と市場社会の競争の狭間で感じる葛藤やジレンマをどのように乗り越えるかと言うお話がとても印象に残った。自分にとっての社会的価値とは何なのか改めて考えさせられた。



次にワーカーズコープ石本さんより普段実践している協同労働についてお話いただいた。住みよい地域づくりの中から生まれた協同労働の中には、どんな人でも一人一人の役割を認識し、札幌市障がい者協働事業を活用し地域と連携した働き方を実践していた。職業を選ぶのではなく、生き方の中から職業を選び作り出す、協同労働の中にはまた違った働き方へのアプローチの仕方があるのではないか。

つづいてワーカーズコレクティブ大熊さんのお話。生活クラブ協同組合の中から生まれた組合員の組合への関わり方は、お客さんとして関わるだけではなく出資して商品の

開発に関わり運営に関わる。協同労働の中ではみんなが事業主でありみんなが経営者だ。様々な地域社会の貢献事業を繰り広げ、生き甲斐や働きがいなどの付加価値がある仕事で替えがきかない仕事を目指して運営を進めているとお話されていた。

つづいて高齢者の就労支援について、NPO法人北海道社会的事業所支援機構佐藤さん。仕事を探す多くの高齢者は電話口で仕事を断られている。その現状をどの様に打破して就労につなげたのかをお話いただいた。高齢者の職業体験を通して、企業とのマッチングをはかり就職につなげる。高齢者より若者を企業は雇いたい、しかし高齢者を雇い入れ高齢者のイメージが変わる。今までの豊富な経験を生かし若者よりも臨機応変に仕事をこなしてくれる高齢者。そのような事からマイナスのイメージがプラスに代わり若い人の代わりとしてではなく、高齢者の方にこそ働いてもらいたいと意識が変わってきているのではないかと佐藤さんは言う。

最後に共生シンフォニーの中崎さん。オランダの社会的協同組合へ視察に行った際のレポートをしていただいた。オランダの障害の種別の中には移民も含まれるそうだ。チョコレート工場や、視覚障害のある方が運営する盲目体験の出来るカフェなど様々な働き方を紹介していただいた。

最後に登壇していただいたみなさんと会場のみなさんを含めて議論した。今回皆さんにお話ししていただいた中で共通してでてきた話題で、雇う雇われると言う労働法制の働き方が主流の現在の働き方の中では、共に助け合い働くと言う当初の目標が薄れ理念の継承の課題が残るということであった。これはやはり僕たちが働くライフでも同じ事がいえるのではないかと。

次世代がこの理念をどの様にしっかりと継承していくのか学びを続けていかねばならない。



## Care

## ヘルパーステーション 繭結

佐々木 泰彦

5月から令和に年号が変わります。昭和生まれの僕としては昔の人に思えてきます。年号が変わっても、福祉、特に在宅介護の現場は人手不足が深刻化しています。利用者が希望する時間と事業所側の動きを変え、話し合いながらなんとかやっています。最近では、大型の施設が建設され、高齢者向け・多機能型など介護職員も少ないところで、在宅介護につく介護職員は更に難しくなっています。人材が少なく対応できないことがありますが、繭結のような事業所を必要と思う人もいます。少ない職員の中でも、工夫しながら頑張っていきたいと思っていますので、身近で介護をしてみたいと思っている方がいたらぜひ紹介してください。宜しくお願いします。

## Travel

## 生活介護 ころや

「ころやと共に…」

佐藤 和雄

勤務して8ヶ月ほどたちますが、最近この仕事に関しては「正解がないことの答え」を探していくようなものなのかなと感じております。

未だに失敗の連続で、メンバーさん達には申し訳ないと思っております。ですが、私なりに親身に向き合い過ごしやすい環境を作っていきたいと考えております。

## Sales

## 共働サービス たねや

「話題の鯖缶、入荷しました！」

今月は新商品入荷を紹介します。木の屋石巻水産より、さばの味噌煮、鯨(くじら)の缶詰を仕入れさせていただきました!

4種類の缶詰を用意したので、全4回に分けて商品を紹介していこうと思います。第1回がこちら「金華さばの味噌煮」の缶詰(内容量:110g)です。

木の屋こだわりのフレッシュパック製法で製造しております。原材料も「さば」と「食塩」のみです。

鯖缶ブームにより、現在は店の在庫限りとなりますので、お早めに!



## Cook

## コン・ブリオ ひだまり

「はじめまして！」

乾 純子

この度御縁がありコン・ブリオひだまりに、4月1日より勤務する事になりました乾と申します。

深川市の出身で8年前に札幌に移住して来ました。3人の娘達もそれぞれ家庭を持ち母親を卒業し、第2の人生をゆっくりのんびり歩みたいと思っています。

皆様に御指導頂きこれからも成長していきたいと思っていますので宜しくお願いいたします。

## ライフ事業所一覧

### ◇NPOライフ本部事務局

TEL 011-633-6666 FAX 011-613-9323

**作業** 共働事業所きばりや 就労継続支援事業A型  
TEL 011-644-5533 FAX 011-613-9323

**生活** ころや 生活介護事業  
TEL 011-614-1871 FAX 011-613-9323

〒063-0812  
札幌市西区琴似2条5丁目3-5 マンションMOMO1F

**飲食** コン・プリオひだまり 就労継続支援事業B型  
TEL 011-615-4131 FAX 011-615-4132

〒063-0812  
札幌市西区琴似2条3丁目2-37 サンハイム1F

**販売** 共働サービスたねや 就労継続支援事業B型  
TEL 011-613-0611 FAX 011-644-0088

**介護** ヘルパーステーション繭結(ゆい) 指定居宅介護事業  
TEL 011-623-2505 FAX 011-644-0088

〒063-0804  
札幌市西区二十四軒4条6丁目5-32 テラ二十四軒1F

**営業** アウトソーシングセンター元気ジョブ 札幌市委託事業  
TEL 011-596-6581 FAX 011-596-6582

〒064-0808  
札幌市中央区南8条西2丁目5-74 市民活動プラザ星園103

**印刷** 共働事業所もじや 札幌市障がい者協働事業所  
TEL 011-596-6583 FAX 011-596-6584

〒064-0808  
札幌市中央区南8条西2丁目5-74 市民活動プラザ星園104

**相談** 相談室らいふ 相談支援事業所  
TEL 080-6076-1474 FAX 011-596-6584

〒064-0808  
札幌市中央区南8条西2丁目5-74 市民活動プラザ星園203

**飲食** Cafe de Kibariya(カフェ・ド・キバリヤ) 就労継続支援事業A型  
TEL・FAX 011-758-6533

〒060-0808  
札幌市中央区北8条西3丁目 札幌エルプラザ内3F喫茶コーナー

**環境** リサイクルプラザ発寒工房 札幌市委託事業  
TEL 011-662-7815 FAX 011-662-7816

URL <http://www.reuseplaza.jp/10hassamu.html>

〒063-0835  
札幌市西区発寒15条14丁目2-30

**環境** 札幌市リユースプラザ 札幌市委託事業  
TEL 011-375-1133 FAX 011-375-1155

URL <http://www.reuseplaza.jp>

〒004-0003  
札幌市厚別区厚別東3条1丁目1-10

# 5月

## イベントカレンダー

16日

(木)

たねや

「カイマチ」  
北大通東広場  
10:00~17:00

18日

(土)

厚別リユースプラザ

「リユース春祭り」  
10:00~15:00

最新の情報は、  
ホームページを  
ご覧ください！

<http://www.npolife.net>

NPOライフ

検索

### ヘルパーステーション 繭結(ゆい)

求人  
情報



■ 訪問介護スタッフ  
正社員・パート同時募集！

ブランクのある人も  
実務経験がない人も大歓迎！  
利用者さんと一緒にできることをひとつひとつ  
増やしていきましょう！

詳しい詳細は  
ライフHP(<http://www.npolife.net/>)  
またはライフ本部(011-633-6666)までご連絡  
ください。

■ インスタグラムはじめました！



ザン太郎

■ たねや WEB SHOP



## ご協力ありがとうございます

3月分・順不同・敬称略

### ■アドポケット購読料

星野 輝明 村中 一夫 匿名1名 後藤 由美子  
板垣 明江 小野 正義 NPO法人わくわくかん

### ■寄付金

エコフィスジャパン(株)  
たねや募金箱 川村 勇 星野 輝明 後藤 由美子

### ■賛同会員会費

水口 正之

### ■協賛団体会員会費

NPO法人北海道ワークス・コレクティブ連絡協議会

### ■ビル建設基金

我妻 武

## 今月の1枚



## ライフカンパ のご案内

ライフの活動に共感してくださる皆様方からの応援を是非ともお願いいたします。

### ■北洋銀行 琴似中央支店 普通 4606735

特定非営利活動法人  
札幌障害者活動支援センターライフ  
理事長 我妻 武

### ■北海道信用金庫 琴似支店 普通 3296744

特定非営利活動法人  
札幌障害者活動支援センターライフ  
理事長 我妻 武

### ■ゆうちょ銀行 振込口座 02710-4-63485

NPO札幌障害者活動支援センターライフ

※アドポケットに同封の払込取扱票もご利用になれます。

## 編集後記

北海道もすっかり春をむかえました。最近、新年度がはじまったので気分転換に美容室へ行きカラーとカットをしてきました。年齢と共に白髪も多くなってきたと感じるこの頃。白髪染めじゃなくてもまだ大丈夫だよ！と言われ、そんな些細なことがとても嬉しかった私。忙しい毎日を過ごしていると気持ちに余裕がなくなってきた。くだらなくても小さなHappyに気づける日々を過ごしていきたいと思います。(S☆T)

## 月替わりコラム

## 「Eテレ バリバラ」観ています

リユースプラザ 松永 クニ子

3月10日放送のEテレのバリバラ観ましたか？2回に渡って放送された、バラフェス～ばらばらな音楽の祭典～の後編最後の登場は「ザ・人生ズ」でした。

人生ズのCDは聴いていましたがメンバーの姿を見たのは初めての夫。感想は、「皆の演奏する姿を観ながら聴くと感動が100倍！！」でした。ところで、この第一回バラフェスグランプリはきつ音の高校生ラッパー「達磨(だるま)」でした。きつ音とは、大きく言うと「話す時にうまく発音できない。どもってしまう。」こと。夫には軽いきつ音があると言います。普段の生活では分からないのですが本人曰く、「人前で話す時に、言葉がつまってしまう。」とのこと。達磨さんが「ラップで歌う時は、きつ音が出ない。でも自分のことを話すときつ音になる。」それがすごく理解出来るそうです。こんな会話をするきっかけは毎週録画して観ているからです。そして、ライフの仲間の中にも声を発することや会話が苦手な人が多いように思います。上手な会話でなくても大丈夫！受け止めてくれる仲間がいます。まずは大きな声で「おはようございます。」「はい！」で気持ちの良い1日を過ごしましょう！

**アドポケット**  
2019年5月号  
No.218 定価 100円

2019年5月10日(毎月10日発行) HSK通巻番号566号 1973年1月13日第三種郵便物承認 発行人=北海道障害者団体定期刊行物協会  
編集者=我妻 武  
◇特定非営利活動法人 札幌障害者活動支援センターライフ  
〒063-0812 札幌市西区琴似2条5丁目3-5 マンションMOMO1F TEL 011-633-6666 FAX 011-613-9323  
E-mail main\_lifemail@npolife.net ホームページ <http://npolife.net/> 郵便振替口座 02710-4-63485